News Release

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

平成３０年９月２７日

各報道機関文教担当記者　　殿

平成３１年度金沢大学学生募集要項（推薦入試・ＡＯ入試・帰国子女入試・国際バカロレア入試・私費外国人留学生入試）の公表について

日頃から，本学の教育研究活動に係る報道等に御協力いただき，誠にありがとうございます。

標記のことについて，別添のとおり資料提供しますので，よろしくお願いします。

＜本件に関する照会先＞
金沢大学学生部入試課長　松本
Tel：264-5175　Fax：234-4042

＜担当＞
金沢大学総務部広報室　嘉信
Tel：264-5024

平成 31 年度（2019 年度）金沢大学学生募集要項（推薦入試・AO入試・帰国子女入試・国際バカロレア入試・私費外国人留学生入試）に関する要項

～前年度からの主な変更点～

1　教科・科目等について

推薦入試Ⅰ

＜人間社会学域経済学類＞

①　推薦入試Ⅰの選抜方法等の変更

推薦入試Ⅱ

＜医薬保健学域保健学類＞

②　看護学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更

③　作業療法学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更

帰国子女入試

＜人間社会学域経済学類＞

④　帰国子女入試の選抜方法等の変更

国際バカロレア入試

＜人間社会学域経済学類＞

⑤　国際バカロレア入試の選抜方法等の変更

＜人間社会学域地域創造学類＞

⑥　国際バカロレア入試の出願要件及び選抜方法等の変更

① 人間社会学域経済学類の推薦入試Ⅰの選抜方法等を下記のとおり変更する。
（要項p.２１参照）

【変更前（平成３０年度）】

選 抜 方 法 等
１．大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 ２．選抜は，小論文，面接の結果及び提出書類（調査書，推薦書，志願理由書）等により総合して行います。小論文は以下の小論文Ⅰと小論文Ⅱからなります。 小論文Ⅰ： 推薦入試Ⅰ（小論文Ⅰ実施日）前日から過去５年間に発行されたEconomist，Fortuneに掲載された英文の記事や論説から出題し，出題された論題について800字程度で論述させます。なお，英和辞典を貸与します。 小論文Ⅱ： 現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え，出題された論題について800字程度で論述させます。 ３．配点：小論文Ⅰ　100点 小論文Ⅱ　100点 面　　接　100点

【変更後（平成３１年度）】

選 抜 方 法 等
１．大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 ２．選抜は，小論文，TOEIC（L&R），面接の結果及び提出書類（調査書，推薦書，志願理由書）等により総合して行います。なお，TOEIC（L&R）は100点満点に換算します。 小論文： 現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え，出題された論題について800字程度で論述させます。 ３．配点：小論文　100点 TOEIC（L&R）　100点 面　接　100点

② 医薬保健学域保健学類看護学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更する。
(要項 p.26 p.38 参照)

【変更前（平成３０年度）】

推　薦　要　件
以下の１から４のすべての条件を満たす者 1. 次の（1）から（3）のいずれかに該当する者 （1）高等学校若しくは中等教育学校を平成29年４月から平成30年３月までに卒業又は卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を平成29年４月から平成30年３月までに修了又は修了見込みの者 （3）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年４月から平成30年３月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀，人物に優れ，看護学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち，出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合，入学することを確約できる者 4. 推薦は，１校につき１名とします。

選 抜 方 法 等
１．大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 ２．選抜は，小論文，面接の結果及び調査書，推薦書，志願理由書等提出された書類により総合して行います。 ３．配点 小論文　100点 面　接（調査書，推薦書，志願理由書等を含む）　100点

【変更後（平成３１年度）】

推　薦　要　件
以下の１から４のすべての条件を満たす者で，平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 次の（1）から（3）のいずれかに該当する者 （1）高等学校若しくは中等教育学校を平成30年４月から平成31年３月までに卒業又は卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を平成30年４月から平成31年３月までに修了又は修了見込みの者 （3）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年４月から平成31年３月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀，人物に優れ，看護学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち，出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合，入学することを確約できる者 4. 推薦は，１校につき１名とします。

選 抜 方 法 等
選抜は，大学入試センター試験の成績，面接の結果及び提出書類等（調査書，推薦書，志願理由書）により総合して行います。

		教　科	科　目　名　等
科目等	センター試験	国　語	（「国語」）
		地理歴史 公　民	（「世界史Ｂ」，「日本史Ｂ」，「地理Ｂ」） （「倫理，政治・経済」） } から１
		数　学	（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」，「簿記・会計」，「情報関係基礎」から１）
		理　科	（「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１）
		外 国 語	（「英語」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１） 〔5教科6科目〕
	個別学力検査等	その他	面接（調査書，推薦書，志願理由書等を含む）

		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
配点	センター試験	200	※100 (100×1)		200	100	200			800
	個別学力検査等								200	200
	計	200	※100		200	100	200		200	1000

③　医薬保健学域保健学類作業療法学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更する。　（要項 p.26 p.40 参照）

【変更前（平成３０年度）】

推　薦　要　件
以下の１から４のすべての条件を満たす者 1. 次の（1）から（3）のいずれかに該当する者 （1）高等学校若しくは中等教育学校を平成29年４月から平成30年３月までに卒業又は卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を平成29年４月から平成30年３月までに修了又は修了見込みの者 （3）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年４月から平成30年３月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀，人物に優れ，作業療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち，出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合，入学することを確約できる者 4. 推薦は，１校につき１名とします。

選 抜 方 法 等
１．大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 ２．選抜は，小論文，面接の結果及び調査書，推薦書，志願理由書等提出された書類により総合して行います。 ３．配点 小論文　100点 面　接（調査書，推薦書，志願理由書等を含む）　100点

【変更後（平成３１年度）】

推　薦　要　件
以下の１から４のすべての条件を満たす者で，平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 次の（1）から（3）のいずれかに該当する者 （1）高等学校若しくは中等教育学校を平成30年４月から平成31年３月までに卒業又は卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を平成30年４月から平成31年３月までに修了又は修了見込みの者 （3）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年４月から平成31年３月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀，人物に優れ，作業療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち，出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合，入学することを確約できる者 4. 推薦は，１校につき１名とします。

選 抜 方 法 等
選抜は，大学入試センター試験の成績，面接の結果及び提出書類等（調査書，推薦書，志願理由書）により総合して行います。

		教　科	科　目　名　等
科目等	センター試験	国　語	（「国語」）
		地理歴史	（「世界史Ｂ」，「日本史Ｂ」，「地理Ｂ」） } から１
		公　民	（「倫理，政治・経済」）
		数　学	（「数学Ⅰ・数学Ａ」）と （「数学Ⅱ・数学Ｂ」，「簿記・会計」，「情報関係基礎」から１）
		理　科	（「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１）
		外国語	（「英語」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１） 〔5教科6科目〕
	個別学力検査等	その他	面接（調査書，推薦書，志願理由書等を含む）

		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
配点	センター試験	200	※100 （100×1）		200	100	200			800
	個別学力検査等								400	400
	計	200	※100		200	100	200		400	1200

④　人間社会学域経済学類の帰国子女入試の選抜方法等を下記のとおり変更する。
（要項 p.71 参照）

【変更前（平成３０年度）】

選 抜 方 法 等
１．大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 ２．選抜は，小論文，成績証明書（調査書），推薦書，志願理由書及び面接の結果を総合して行います。小論文は以下の小論文Ⅰと小論文Ⅱからなります。 小論文Ⅰ：帰国子女入試（小論文Ⅰ実施日）前日から過去５年間に発行された Economist, Fortune に掲載された英文の記事や論説から出題し，出題された論題について 800 字程度で論述させます。なお，英和辞典を貸与します。 小論文Ⅱ：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え，出題された論題について 800 字程度で論述させます。 3．配点：小論文Ⅰ　100 点 小論文Ⅱ　100 点 面　接　100 点

【変更後（平成３１年度）】

選 抜 方 法 等
１．大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 ２．選抜は，小論文，成績証明書（調査書），推薦書，志願理由書及び面接の結果を総合して行います。 小論文：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え，出題された論題について 800 字程度で論述させます。 ３．配点：小論文　100 点 面　接　100 点

⑤　人間社会学域経済学類の国際バカロレア入試の選抜方法等を下記のとおり変更する。
（要項 p.81 参照）

【変更前（平成３０年度）】

選 抜 方 法 等
１．大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 ２．選抜は，提出書類等，小論文及び面接の結果により総合して行います。小論文は以下の小論文Ⅰと小論文Ⅱからなります。 小論文Ⅰ：国際バカロレア入試（小論文Ⅰ実施日）前日から過去５年間に発行された Economist, Fortune に掲載された英文の記事や論説から出題し，出題された論題について 800 字程度（日本語）で論述させます。なお，英和辞典を貸与します。 小論文Ⅱ：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え，出題された論題について 800 字程度（日本語）で論述させます。 3．配点：小論文Ⅰ　100 点 小論文Ⅱ　100 点 面　接　100 点

【変更後（平成３１年度）】

選 抜 方 法 等
１．大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 ２．選抜は，提出書類等，小論文及び面接の結果により総合して行います。 小論文：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え，出題された論題について 800 字程度（日本語）で論述させます。 3．配点：小論文　100 点 面　接　100 点

⑥　人間社会学域地域創造学類の国際バカロレア入試の出願要件及び選抜方法等を下記のとおり変更する。
（要項 p.80～81 参照）

【変更前（平成３０年度）】

出 願 資 格
次の（1）～（3）のいずれにも該当する者 （1）スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成 30 年（2018 年）３月までに授与された者及び授与見込みの者で平成 30 年（2018 年）３月 31 日までに 18 歳に達するもの （2）国際バカロレア資格の取得において，次の①及び②に該当する者又は平成 30 年（2018 年）３月までに該当する見込みの者 ①　言語Ａを日本語により履修し，成績評価が４以上の者 ただし，言語Ｂ（ＨＬ）を日本語により履修し，成績評価が４以上の者を含みます。 ②　本学の指定する次の科目を履修し，必要な成績評価を修めた者 地域創造学類：指定なし

選 抜 方 法 等
①大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 ②選抜は，提出書類等，小論文及び面接の結果により総合して行います。

【変更後（平成３１年度）】

出 願 資 格
次の（1）～（3）のいずれにも該当する者 （1）スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成 31 年（2019）３月までに授与された者及び授与見込みの者で平成 31 年（2019 年）３月 31 日までに 18 歳に達するもの （2）国際バカロレア資格の取得において，次の①及び②に該当する者又は平成 31 年（2019 年）３月までに該当する見込みの者 ①　言語Ａを日本語により履修し，成績評価が４以上の者 ただし，言語Ｂ（ＨＬ）を日本語により履修し，成績評価が４以上の者を含みます。 ②　本学の指定する次の科目を履修し，必要な成績評価を修めた者 地域創造学類：ディプロマスコア 35 以上かつグループ 3～5 から１科目（ＨＬ成績評価４以上）

選 抜 方 法 等
①大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 ②選抜は，提出書類及び面接の結果により総合して行います。